

(第1回) アスファルト合材の不正納入に関する有識者委員会  
議事概要

1. 日時 令和6年9月20日(金) 16:00~18:00

2. 場所 中央合同庁舎3号館10階共用会議室

3. 出席委員

小澤委員長、秋葉副委員長、伊藤委員、小幡委員、楠委員、桑原委員、  
高橋委員、坪川委員、福手委員、山路委員、渡邊委員

4. 議事概要

1) 事案の概要

(株)NIPPO 及び鹿島道路(株)における事案の公表経緯、国による全国調査の内容等を事務局より説明。

2) 工事におけるアスファルト合材の流れ

工事発注から引き渡しまでの流れ、受発注者による確認内容等を事務局より説明。

3) 事案発生の原因分析

全国調査や両社の外部調査委員会の報告等を踏まえた事案発生の原因分析を事務局より説明。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・As 殻の置場に困ったなどの事情があったとしても、契約で求められた材料を発注者に協議せずに使用した事は論外である。(他社では行われていない)

4) 再発防止の検討の視点

原因分析を踏まえた再発防止の検討の視点を事務局より説明。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・意図的な不正について、発注者や受注者がどこまで対応可能なのを見極めたうえで、再発防止の仕組みづくりを検討すべきではないか。
- ・製造データの書き換え防止を図る方策(書き換えの記録が残るプログラムの構築・配布など)の検討が必要ではないか。
- ・これまでの仕組みでチェックできなかったという事も踏まえて再発防止を検討する必要があるのではないか。
- ・不正を働いた会社に対する処分のあり方についての議論も必要ではないか。
- ・As 殻の需給バランス改善のためにも、耐久性の技術的検証等を行ったうえで、再生骨材の利用拡大について検討する必要があるのではないか。(他産業で使用する仕組みも含め)
- ・原油の価格の変動への対応なども含めて、適正な利益を確保させていくための方策も必要ではないか。

#### 5) 修補等の方向性

検討にあたり考慮すべき背景と論点のほか、今後、技術検討WGにおいて議論することを事務局より説明。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・再生骨材の混入だけでなく、改質剤も必要な量が含まれているかを確認したうえで、修補の方針を整理すべきではないか。
- ・全箇所修補するという事が前提ではあるが、現場の状況を確認した上で、どのタイミングで修補するのかなど、モニタリングにより把握していくといった視点も必要ではないか。

#### 6) 今後の進め方

今後の検討の流れを事務局より説明。

以上